



20歳を祝う

20歳に誓う

この日、成人式を迎えたのは、昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた266人。うち、232人（男性106人、女性126人）が出席しました。

『20のあなたへ』そこに居たのは多久の友だち』と題したメモリアルビデオ放映でスタート。小・中学校時代の懐かしい姿が映し出されると会場は歓声に包まれ、お世話になった恩師の「夢を持ち続け、その夢を実現させるために日々努力を！」など祝福のビデオレターには感激して見入りました。

式典では、横尾市長が式辞の中で、アンジェラ・アキさんが作詞・作曲で

歌う『手紙〜拝啓 十五の君へ』の歌詞や新成人が中学時代（中央中学校）に果たした全日本少年軟式野球大会全国優勝の話題を織り交ぜたエールを贈り、古賀市議会議長の来賓を代表した祝辞に続き、3人の新成人が代表で誓いのことばを述べました。

成人式は、保護者の手を離れ、自分の意思で人生を歩み出すスタートであり、社会的な権利を手に入れるとともに、義務と責任を負うことへの宣誓の儀式。出席者は「しっかりと責任を持って生きたいと思う」「親孝行で感謝のう頑張りたい」「清らかな気持ちで大人へのスタートを切れた」と語り、

平成21年多久市成人式（多久市、多久市教育委員会主催）を1月4日、中央公民館で開きました。華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人のみなさんが集い、大人への出発点の日を受けたエールを胸に、それぞれが新たな気持ちで社会人としての第一歩を踏み出しました。

●特集● 平成21年多久市成人式



■メモリアルビデオが始まると懐かしい姿に歓声が響きました

私は今、大学で化学を学んでいます。将来は、環境問題に携わる研究をしていきたいと考えています。現在、世界中で地球温暖化や砂漠化、大気汚染、水質汚染など様々な問題が起きています。その中のどれか一つでも改善していくチームに入り、世の中に貢献したいと考えています。それが、成人の日を迎えた私の志です。

今日、成人式を迎えた私たちがそれぞれ目標を持ち、それぞれの持つ個性や持ち味を生かし、目標に向かって頑張っていくことこそが、大きな愛情で見守り、育てていただいた両親をはじめ、多久の皆様方への恩返しだと思います。「感謝」の気持ちを忘れず、大人としての「自覚」と「責任」を持ち、社会に貢献できる人間となるよう、日々努力していきたいと思っています。

志を目指し、世の中に貢献したい



合六 晴佳さん（東部中学校区代表）

誓いのことば